

事業所における自己評価結果 (公表)

公表：令和6年2月29日

児童発達支援あぶあ

		チエック項目			はい		わからない		いいえ		工夫している点		課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で 適切である	6											
	②	職員の配置数は適切である	4			2								法的に適正な人員配置は満たしているがレギュ ラー時(体験対応)の時などに足りないと感じる との意見に対し、親御さんの質問などに対しては 療育時間後に対応することとする
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された 環境になっている。また、障害の特性に応じ、 事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達 等への配慮が適切になされている	6											
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境に なっている。また、子ども達の活動に合わせた 空間となっている	5			1								空気清浄機を購入して窓は開けない(指はさみ防 止)建物の構造上(オーナー意向で改装不可)の 部分は職員見守り注意でフォローする 出入り不要のスペースには鍵をかける
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標 設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4			2								時間がなかなか十分とれないが来年度人員も増 やすためしっかりとおこなっていく
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対し て事業所の評価を実施するとともに、保護者等 の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	2										
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価 表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を 行うとともに、その結果による支援の質の評価 及び改善の内容を、事業所の会報やホーム ページ等で公開している	1	5										今回が開所後初めての自己評価2/29に公表予定
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている			5	1								初年度のためおこなっていない
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を 確保している	6							オンライン研修活用				強度行動障害研修 児発管研修 感覚統合運動研修などに積極的に参加予定
適切 な支 援の 提 供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、児童 発達支援計画を作成している	6											
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化 されたアセスメントツールを使用している	6											
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイド ラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の 「発達支援(本人支援及び移行支援)」、 「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容 から子どもの支援に必要な項目が適切に選択 され、その上で、具体的な支援内容が設定され ている	5	1										
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われて いる	6											
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	6											
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6											
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を 適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成 している	6											
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われる支援の内容や役割分担につい て確認している	6											
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、気付い た点等を共有している	1			5								送迎時に家庭都合で早帰りスタッフもいて終了後 は難しい。子育て中スタッフが多量の中での工夫が 必要 HUG(電子ソフト)の業務日報欄、個々のお子様の ケア記録に引継ぎ事項を残す、責任者におのおの 引き継ぐ、翌出勤日朝に確認共有するなどに対応 する
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、 支援の検証・改善につなげている	4			2								記録に関しては保護者様向け連絡帳昨日(HUG) には各自時間をかけて記入している。それ以外の 部分が難しい。改善策でその保護者向け記録を活 用する。 支援中の隙間時間(人数が少な食でも対応できる 時間)の活用
⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援 計画の見直しの必要性を判断している	6												
関係 機関 や保 護者	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会 議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい 者が参画している	2	4										セルフプランがほとんどで会議に呼ばれたことがな い
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や 関係機関と連携した支援を行っている		5	1									来年度は積極的に連携したい
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害 のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等 の関係機関と連携した支援を行っている												対応していない

	チェック項目	はい	わからない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
との連携関係機関や保護者との連携	②④ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている					対応していない
	②⑤ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	4			来年度は積極的におこないたい
	②⑥ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		4	2		来年度は積極的におこないたい
	②⑦ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		4	2		来年度は積極的におこないたい
	②⑧ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		1	5		来年度は積極的におこないたい
保護者への説明責任等	③⑨ (自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		2	4		来年度は積極的におこないたい
	③⑩ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	6			写真付きで個別支援計画目標に対しての進捗まで毎回共有している	
	③⑪ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている		1	5		来年度祝日なども利用して開催を検討する
	③⑫ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5	1			
	③⑬ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	5	1			
非常時等の対応	④① 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	1			
	④② 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している			6		
	④③ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	6				
	④④ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1	1	4		HUGで対応している 行事などはおこなわなかったため頻度が低かった。定期的なところを上げていく
	④⑤ 個人情報の取扱いに十分注意している	6				
	④⑥ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	2			
	④⑦ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	3		対応できるか検討していく(土日お休みのため職員体制も難しく平日お子様が居る時間にできるのか検討
	④⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6				
	④⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6				
	④⑩ 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	2			
	④⑪ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	2			
	④⑫ ヒヤリット事例集を作成して事業所内で共有している	5	1			
	④⑬ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6				
	④⑭ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4	2			

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。